

介護・医療連携推進会議記録

日時	令和元年 7 月 10 日 (水)
事業所名	定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーションつむぎ
サービス種別	定期巡回随時対応型訪問介護看護
記録者	千葉
出席者	利用者家族：2 名 地域住民の代表者：1 名 民生委員：1 名 医師：1 名 市職員：1 名 知見を有する者：1 名 定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーションつむぎ職員：1 名 介護複合施設つむぎ職員：1 名
会議項目・内容	<p>1. 定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーションつむぎ事業説明資料をもとに説明を行う。</p> <p>2. サービス概要の説明</p> <p>令和元年 7 月 10 日時点 平均要介護度 2.608 訪問介護利用者 46 人 (男性 12 人 女性 34 人) 内訪問看護利用者 5 人 食事介助 7 人 入浴介助 5 人 排泄介助 27 人 居室掃除 46 人 モーニング・ナイトケア・口腔ケア 27 人 医療サービス内容 インスリン管理 2 人 バルンカテーテル管理 1 人 血糖値管理数 2 人 適宜浣腸・摘便 1 名 介護保険事故：1 件 内容説明する。</p> <p>出席者より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部評価について、評価日が 6 月 10 日になっているが評価期間がいつからいつなのか不明である。また、誰が評価したかもわからない。外部評価だけの書類を見ても、どうコメントしていいのかわからない。事業計画があっても良いのでは？この会議でどこまで求めるのか？がわからないから評価のしようがない。今後どのように会議を考えるのか求めたい。 →この度の評価については、本来は前年度に実施できていない評価であり、昨年 4 月からこの 6 月までの評価としたい。この会議の持ち方について、伝え方や資料等を考慮し少しでも事業の内容が伝えられるようにしたい。この件については検討していく。 ・夕食後の住宅の様子を見て、複数赤いランプが点灯していること

	<p>があり、職員の配置、勤務を考えてみてはどうでしょうか？職員の方も負担が少なくなると思います。</p> <p>→これまでの職員配置では、シフト等検討する状況ではなかったが、新人職員が力をつければ勤務の調整もできるため、前向きに検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診の対応は、職員がすることはあるのか？転倒等でけがをした時等。 <p>→緊急を要す場合は、救急対応にて職員が同行する。病院で、ご家族と待ち合わせをする。県外やケースによっては、住宅の職員が対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故で県外にいる家族へはどのようにしているのか？ <p>→事故の状況を電話で説明し受診が必要であればそのことも伝える。また、受診後の経過も電話で伝える。後日文書等で説明はしたことはない。</p> <p>※自己評価外部評価については、これで良いという意見もあった。しかし、会議の持ち方を考えていく上で、資料等の追加や今一度参加者の立ち位置や役割の検討も必要と考えさせられる内容であった。</p> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の定期巡回の必要がありますか？ <p>→在宅の方で、定巡の需要はありません。</p>
所見・課題・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の在り方について ・会議の開催時期の再検討 ・自己評価外部評価の在り方 ・会議出席者の在り方、役割 ・夕食後の職員配置について
次回の会議予定日	令和元年

※ 記入欄は適宜調整してください。収まりきらない場合は2枚以上でも差し支えありません。

※ 会議の記録は、この書式以外でも差し支えありません。